

～2026 男子器械種目寸度表～

～2026 女子器械種目寸度表～

□選手権1部(中学2年～高校3年) □選手権2部(中学1年～高校3年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
あん馬	1m15cm～1m16cm	10cm
つり輪	2m90cm	20cm
跳馬	1m35cm	20cm
平行棒	2m00cm	20cm
鉄棒	2m80cm	20cm

□Aクラス(小学5年～中学3年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
あん馬	1m15cm～1m16cm	10cm
つり輪	東西大会 2m65cm 決勝大会 2m90cm	20cm 40cm
跳馬	1m25cm	20cm
平行棒	2m00cm	20cm
鉄棒	2m75cm	20cm

□Bクラス(小学1年～小学6年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
あん馬	1m15cm～1m16cm <small>※身長の高い選手に対し、飛びつき台を別途用意する。(50cmまで)</small>	10cm～12cm
つり輪	東西大会 2m65cm 決勝大会 2m90cm	20cm 40cm
跳馬	1m20cm	20cm
平行棒	1m75cm	10cm
	1m87cm <small>*一般認定器具で高さ187cm(±2cm)、両棒間の幅調節ができるものがあれば良い。(設置の際は業者に確認)</small>	20cm
鉄棒	2m65cm	20cm

【男子A・Bクラス(2026年～)】

決勝大会のみ  
つり輪 高さ 2m90cmに変更  
但し、両クラスともマットは40cm

□選手権1部(小学6年～高校3年) □選手権2部(中学3年～高校3年)

□Aクラス(小学5年～中学3年) □Bクラス(小学3年～中学3年)

□Cクラス(小学1年～小学6年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
跳馬	1m25cm	20cm
段違い	低棒 1m75cm	20cm
	高棒 2m55cm	
	バー間隔 1m81cm	
平均台	1m25cm	20cm

ゆかを除く3種目では最大10cm程度の着地マットを使用しなければならない。(本会場3枚、練習会場3枚)

【指定マット情報】

《女子》◆ 段違い平行棒 スポッターマット(補助用ソフトマット)の使用を適用  
・サブ会場、本会場練習(ローテーションアップ)に加えて、競技直前のタッチ  
ウォームアップ時にもスポッターマット(補助用ソフトマット)を使用することを  
認める。  
200cm×150cm×15cm

《男子》◆ セフティマットの使用について  
・使用を認める種目:あん馬以外のすべての種目  
・使用を認める技:3回宙返り技  
鉄棒に於ける手放し技  
・使用を認めるマット:セノー社製セフティマット  
200cm×200cm×10cm 又は 400cm×200cm×10cm

※開催地によっては正規品が用意できない場合があります。ご了承ください。

※東西ジュニア大会

男子 あん馬のポメルについて

2026年度よりポメルはセノー社製のジュニア用ポメルのみを使用する。